

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境エネルギー係
■評価事業名称	再生可能エネルギー活用計画策定・推進事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030200 - 201	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	地域に賦存する再生可能エネルギーを積極的に活用し、低炭素で災害に強いまちが実現していること。住民が地球環境や地域環境に負荷をかけない暮らし方を実践していること。低炭素社会の実現を目指し、地域に賦存する再生可能エネルギーの積極的な活用と省エネルギーの推進を両軸にした地球温暖化防止の方策を定め推進するために、再生可能エネルギー活用推進計画を策定するもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01	再生可能エネルギー活用計画策定事業	市民		
02	再生可能エネルギー活用計画推進事業	市民、企業、事業所	①地域ぐるみで取り組む環境エネルギー教育事業「(黒工地域連携プロジェクト)」(市教委との連携による出前授業のプログラム化、ニ子地区との連携事業調整、スタートプログラムワークショップ、小中学校出前授業、活動報告会) ②テクノメッセへの出展	①黒工×ニ子プロジェクト(キックオフワークショップ、中間報告会、黒岩フィールドワーク、小中学校出前授業、活動報告会) ②テクノメッセへの出展

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	309	469	303	256	
人件費	5,763	7,447	826	2,824	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,072	7,916	1,129	3,080	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標 コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	計画の策定		策定			再生可能エネルギー活用 のための総合的な指針とな る計画の策定
02	ソフト事業数	7事業	5事業	2事業	2事業	計画推進のための、ソフト 事業数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
☒ B. 概ね順調
☐ C. 遅れている

達成状況の分析

平成再生可能エネルギー活用推進計画後期計画を平成28年3月に策定し、低炭素化社会の実現のためソフト事業を進めている。

問題点・課題等

小水力発電の導入が進まず、再生可能エネルギーの導入が太陽光に偏重している。黒工地域連携プロジェクトにおいてエネルギー事業との相関性の維持が課題である

1. 直接的な受益者の範囲

- ☒ 不特定多数に及ぶ
☐ 特定されるが多数に及ぶ
☐ 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☒ 類似の事業はない
☐ 類似の事業はあるが競合はない
☐ 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
☐ 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- ☐ 市民生活・企業活動の維持に不可欠
☒ 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
☐ 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- ☐ 1. で選択した人の大多数(70%程度)
☒ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
☐ 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
☒ ニーズは変わらない
☐ ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☐ 順位が中程度
☒ 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☐ 順位が中程度
☒ 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- ☒ 先進的またはユニークな事業である
☐ 他と同程度の事業である
☐ 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- ☒ 今以上の効率化や改善は難しい
☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能
☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
☒ II. 継続
☐ III. 縮小
☐ IV. 廃止・休止
☐ V. 完了